

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)アルピオガーデン手塚

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	重点評価項目				A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	A	B	C	D										
Q 建築物の環境品質														
Q1 室内環境														
1 音環境														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1 開口部遮音性能														
2 界壁遮音性能														
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														
1.3 吸音														
2 温熱環境														
2.1 室温制御														
1 室温														
2 外皮性能														
3 ゾーン別制御性														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
3 光・視環境														
3.1 屋光利用														
1 屋光率														
2 方位別開口														
3 屋光利用設備														
3.2 グレア対策														
1 屋光制御														
2 眩り防止対策														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
4 空気質環境														
4.1 発生源対策														
1 化学汚染物質														
2 浮遊粒子状物質														
4.2 換気														
1 換気量														
2 自然換気性能														
3 取り入れ外気への配慮														
4.3 運用管理														
1 CO ₂ の監視														
2 喫煙の制御														
Q2 サービス性能														
1 機能性														
1.1 機能性・使いやすさ														
1 広さ・収納性														
2 高度情報通信設備対応														
3 バリアフリー計画														
1.2 心理性・快適性														
1 広さ感・景観														
2 リフレッシュスペース														
3 内装計画														
1.3 維持管理														
1 維持管理に配慮した設計														
2 維持管理用機能の確保														
3 衛生管理業務														
2 耐用性・信頼性														
2.1 耐震・免震														
1 耐震性														
2 免震・制振性能														
2.2 部品・部材の耐用年数														
1 躯体材料の耐用年数														
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														
6 主要設備機器の更新必要間隔														
2.4 信頼性														
1 空調・換気設備														
2 給排水・衛生設備														
3 電気設備														
4 機械・配管支持方法														
5 通信・情報設備														
3 対応性・更新性														
3.1 空間のゆとり														
1 階高のゆとり														
2 空間の形状・自由さ														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														
1 空調配管の更新性														
2 給排水管の更新性														
3 電気配線の更新性														
4 通信配線の更新性														
5 設備機器の更新性														
6 バックアップスペースの確保														

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)アルピオ・ガーデン手廻

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄								
	重点評価項目									建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	A	B	C	D						評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q3 室外環境(敷地内)													-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出													2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮													3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮													3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上													3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上													4.0	0.50	-	-	-
空地率、中・高木、ピロティ等の水平投影面積率を確保																	
LR 建築物の環境負荷低減性													-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー													-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制													5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用													3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化													4.7	0.50	-	-	4.7
BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.58																	
集合住宅以外の評価(3a.3b)																	
集合住宅の評価(3c)													4.7	1.00	-	-	-
LED照明等の高効率設備機器の採用													3.0	0.20	-	-	3.0
4 効率的運用																	
集合住宅以外の評価																	
4.1 モニタリング													3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制													3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価													3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング													3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制													3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル													-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護													2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水													1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用													3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無													3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無													-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減													2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減													2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用													3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用													3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用													3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材													2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み													3.0	0.20	-	-	-
再生クラッシュラン(路盤材)																	
3 汚染物質含有材料の使用回避													4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用													4.0	0.30	-	-	-
防水工事のプライマー採用													4.0	0.70	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避													-	-	-	-	-
1 消火剤													5.0	0.50	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)													3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒													3.0	0.50	-	-	-
断熱材は、ノンフロン発泡ウレタン、グラスウールを採用																	
LR3 敷地外環境													-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮													3.4	0.33	-	-	3.4
LCCO2排出率=88%													3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮													3.0	0.25	-	-	-
2.1 大気汚染防止													3.0	0.50	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善													3.0	0.25	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制													-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減													3.0	0.33	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制													3.0	0.33	-	-	-
3 交通負荷抑制													3.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制													3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮													3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止													3.0	0.40	-	-	-
1 騒音													3.0	1.00	-	-	-
2 振動													-	-	-	-	-
3 悪臭													-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制													3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制													3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制													3.0	0.30	-	-	-
3 日照障害の抑制													4.4	0.20	-	-	-
3.3 光害の抑制													5.0	0.70	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策													3.0	0.30	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策																	
「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす、広告物照明無し																	